

注3

大学番号：004

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

日本医療大学 保健医療学部 診療放射線学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 日本医療大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学生・教員サポートグループ

職名・氏名 タナカ シンノスケ
田中 慎之介

電話番号 011-885-7711

（夜間） 011-885-7711

F A X 011-885-5757

e-mail s_tanaka@nihoniryo-c.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部学部

＜診療放射線学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人日本医療大学

(2) 大 学 名

日本医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒004-0839

北海道札幌市清田区真栄434番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツシマ ノリアキ) 対 馬 徳 昭 (平成5年4月)	(フリ ガ ナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年10月)	(30)平成30年4月1日付けで 島本総長が学長を代行 (30)平成30年10月1日付けで 学長を任命
学 部 長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年10月)	(30)平成30年4月1日付けで 島本総長が学長を代行 (30)平成30年10月1日付けで 学部長を任命
学科長等	(ニシヤマ アツシ) 西 山 篤 (平成28年4月)		学科長(診療放射線学科)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)-① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	50人	-	200人	
診療放射線学科						
学士(診療放射線学)						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5)-② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	50人 (-) [-]	- (-) [-]	50人 (-) [-]	- (-) [-]	50人 (-) [-]	- (-) [-]	50人 (-) [-]	人 (-) [-]	1.13倍	-	
志願者数	() []	() []	76人 (-) [-]	- (-) [-]	102人 (-) [-]	- (-) [-]	202人 (-) [-]	- (-) [-]	165人 (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	() []	() []	74人 (-) [-]	- (-) [-]	100人 (-) [-]	- (-) [-]	187人 (-) [-]	- (-) [-]	160人 (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	() []	() []	59人 (-) [-]	- (-) [-]	64人 (-) [-]	- (-) [-]	119人 (-) [-]	- (-) [-]	89人 (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	52人 (-) [-]	- (-) [-]	53人 (-) [-]	- (-) [-]	58人 (-) [-]	- (-) [-]	63人 (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A			1.04倍		1.06倍		1.16倍		1.26倍				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[] ()	[] ()	52人 [-] (-)	[-] (-)	60人 [-] (7人)	[-] ()	59人 [-] (1人)	[-] ()	65人 [-] (2人)	[-] (-)	
2 年次						44人 [-] ()	[-] (-)	55人 [-] ()	[-] (-)	62人 [-] (5人)	[-] (-)	
3 年次								[-] (-)	[-] (-)	43人 [-] ()	[-] (2人)	[-] ()
4 年次										41人		
										[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)
計				52人 [] ()	[] ()	104人 [] (7人)	[] ()	157人 [] (1人)	[] ()	219人 [] (8人)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	52 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	1 人	0 人	一身上の都合(1人)
平成29年度	104 人	5 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	3 人	0 人	一身上の都合(3人)
			平成29年度	2 人	0 人	一身上の都合(2人)
平成30年度	157 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	1 人	0 人	一身上の都合(1人)
令和元年度	217 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
合 計		7 人		7 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{52} = \boxed{1.92} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{104} = \boxed{4.8} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{157} = \boxed{0.63} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{217} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 診療放射線学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	手	
基礎 教育 科目	生命科学	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	倫理学	1前	1									兼1
	生命倫理	1後	1									兼1
	宗教と思想	1前	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	社会学	1前	1									兼1
	法学	1後	1									兼1
	教育学	1後	1									兼1
	北海道史	1前	1									兼1
	ボランティア活動	1後	1									兼1
	物理学	1前	2									兼1
	化学	1後	1		1							兼1
	生物学	1前	1									兼1
	生活と運動	1前	1									兼1
	健康とスポーツ	2前	1									兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2									兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後	1									兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後	1									兼1
	情報科学	1前	1					1				兼1
	情報科学演習	1後	1					1				兼1
	日本語表現	1前	1									兼1
専 門 基 礎 教 育 科 目	英語Ⅰ	1前	1									兼1
	英語Ⅱ	1後	1									兼1
	英語Ⅲ	2前	1									兼1
	中国語	2前	1									兼1
	小計(27科目)	-	10	19	0							
	医学概論	1前	1									兼1
	系統解剖学	2前	2									兼1
	臨床解剖学	2後	2									兼1
	臨床解剖学演習	3前	1		1							兼1
	生理学	2後	1									兼1
	病態生理学	3前	1									兼1
	病理学	2後	1									兼1
	生化学	2前	1									兼1
	薬理学	2前	1									兼1
	臨床薬理学	2後	1									兼1
	衛生学	1後	1									兼1
	公衆衛生学	1後	1									兼1
	臨床医学概論	2後	2									兼1
	臨床医学演習	3前	1									兼1
	放射線科学概論	1前	1		2							兼1
	診療放射線学概論	1後	1		1		1					兼1
	放射線生物学	2前	2									兼1
	放射線生物学演習	2後	1									兼1
	放射線物理学	1後	2		1							兼1
	放射線物理学演習	2前	1		1							兼1
	放射線物理学実験	2前	1		2		1					兼1
	放射化学	2前	2		1							兼1
	放射化学演習	2後	1		1							兼1
	電気・電子工学	2前	2		1							兼1
	医用工学	2後	2		1							兼1
	医用工学実験	2前	1		2		2					兼2
	放射線計測学	3前	2		1							兼1
	放射線計測学演習	4前	1		1							兼1
	基礎看護学	2前	1									兼1
	医療コミュニケー ション学	1後	1		1							兼1
	チーム医療論	2後	1									兼1
	医療経済学	2前	1				1					兼1
	臨床心理学	2後	1									兼1
	小計(33科目)	-	29	13	0							

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	手	
基 礎 教 育 科 目	生命科学	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	倫理学	1前	1									兼1
	生命倫理	1後	1									兼1
	宗教と思想	1前	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	文化人類学	1後	1									兼1
	社会学	1前	1									兼1
	法学	1後	1									兼1
	教育学	1前	1									兼1
	北海道史	1前	1									兼1
	ボランティア活動	1後	1									兼1
	物理学	1前	2									兼1
	化学	1後	1		1							兼1
	生物学	1前	1									兼1
	生活と運動	1前	1									兼1
	健康とスポーツ	2前	1									兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2									兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後	1									兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後	1									兼1
	情報科学	1前	1					1				兼1
	情報科学演習	1後	1					1				兼1
	日本語表現	1前	1									兼1
	英語Ⅰ	1前	1									兼1
	英語Ⅱ	1後	1									兼1
	英語Ⅲ	2前	1									兼1
	中国語	2前	1									兼1
	小計(27科目)	-	10	19	0							
専 門 基 礎 教 育 科 目	医学概論	1前	1									兼1
	系統解剖学	2前	2									兼1
	臨床解剖学	2後	2									兼1
	臨床解剖学演習	3前	1		1							兼1
	生理学	2後	1									兼1
	病態生理学	3前	1									兼1
	病理学	2後	1									兼1
	生化学	2前	1									兼1
	薬理学	2前	1									兼1
	臨床薬理学	2後	1									兼1
	衛生学	1後	1									兼1
	公衆衛生学	1後	1									兼1
	臨床医学概論	2後	2									兼1
	臨床医学演習	3前	1									兼1
	放射線科学概論	1前	1		2							兼1
	診療放射線学概論	1後	1		1		1					兼1
	放射線生物学	2前	2									兼1
	放射線生物学演習	2後	1									兼1
	放射線物理学	1後	2		1							兼1
	放射線物理学演習	2前	1		1							兼1
	放射線物理学実験	2前	1		2		1					兼2
	放射化学	2前	2		1							兼1
	放射化学演習	2後	1		1							兼1
	電気・電子工学	2前	2		1							兼1
	医用工学	2後	2		1							兼1
	医用工学実験	2前	1		2		1					兼2
	放射線計測学	3前	2		1							兼1
	放射線計測学演習	4前	1		1							兼1
	基礎看護学	2前	1									兼1
	医療コミュニケー ション学	1後	1		1							兼1
	チーム医療論	2後	1									兼1
	医療経済学	2前	1									兼1
	臨床心理学	2後	1									兼1
	小計(33科目)	-	29	13	0							

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
			修	修	由	授	授	師	数	手		
専 門 教 育 科 目	診療画像技術学概論	2前	1					1				
	診療画像技術学Ⅰ(一般撮影)	2後	2					1				
	診療画像技術学Ⅱ(造影検査)	3前	2			1						
	X線CT検査学	3前	2					1				
	MRI検査学	3後	2			1						
	超音波検査学	3後	2					1				
	診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)	2後	1			2		1				兼3
	診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)	3前	1			1		3				兼3
	診療画像機器学	2後	2			1						
	診療画像機器学演習	3前		1		1						
	診療画像機器学実験	3後	1			2		1				兼1
	画像解剖学Ⅰ(X線画像)	2後	2					1				
	画像解剖学Ⅱ(MRI・超音波・造影画像)	3前	2			1						
	画像解剖学Ⅲ(演習)	3後		1				1				
	画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・背髄)	3後	2					1				
	画像診断学Ⅱ(胸部・心大血管・消化器他)	4前	2			1						
	画像診断学Ⅲ(演習)	4後		1		1						
	核医学検査技術学概論	3前	2					1				
	核医学検査技術学	3後	2					1				
	核医学検査機器学	3後	2									兼1
	核医学検査技術学演習	4後		1				1				
	放射線治療技術学概論	3前	2			1						
	放射線治療技術学	3後	2			1						
	放射線治療計測学	4前	1			1						
	放射線治療機器学	3後	1									兼1
	放射線治療技術学演習	4後		1		1						
	医療画像処理学	2後	1					1				
	医療画像工学	3前	2					1				
	医療画像情報学	3後	2					1				
	医療画像情報学演習	4後		1				1				
	医療情報管理学	4前	1					1				
	放射線安全管理学	3後	2			1						
	医療機器安全管理学	4前	1			1						
	関係法規	4前	1									兼1
	放射線カウンセリング学	4前		1		1						
	医療職としての責任と役割	4前	1									兼1
	医療安全管理学	4後	1			1						兼1
	応急処置法(演習)	4前	1									兼1
	臨床実習Ⅰ	3後	4			6		4				
	臨床実習Ⅱ	4後	6			5		4				
	放射線技術学特別講義	4前		1		1						兼4
	総合演習Ⅰ(専門基礎領域)	4後		1		3		1				
	総合演習Ⅱ(臨床領域)	4後		1		1		3				
	卒業研究	4通	4			6		4				
小計(44科目)	-	63	10	0								
合計(104科目)	-	102	42	0								
卒業要件及び履修方法												
基礎教育科目:必修科目10単位、選択科目10単位以上 専門基礎教育科目:必修科目29単位、選択科目7単位以上 専門教育科目:必修科目63単位、選択科目7単位以上 履修の上限単位 1年生:34単位、2年生:40単位、3年生:42単位、4年生:28単位												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
専門教育科目	診療画像技術学概論	2前	1					1				
	診療画像技術学Ⅰ(一般撮影)	2後	2					1				
	診療画像技術学Ⅱ(造影検査)	3前	2			1						
	X線CT検査学	3前	2						1			
	MRI検査学	3後	2			1						兼1
	超音波検査学	3後	2					1				兼1
	診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)	2後	1			2		1				兼4
	診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)	3前	1			1		2				兼6
	診療画像機器学	2後	2			1						兼3
	診療画像機器学演習	3前		1		1						兼3
	診療画像機器学実験	3後	1			2		1				兼6
	画像解剖学Ⅰ(X線画像)	2後	2					1				
	画像解剖学Ⅱ(MRI・超音波・造影画像)	3前	2			1						
	画像解剖学Ⅲ(演習)	3後		1					1			兼1
	画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・背髄)	3後	2									
	画像診断学Ⅱ(胸部・心大血管・消化器他)	4前	2			1						
	画像診断学Ⅲ(演習)	4後		1		1						
	核医学検査技術学概論	3前	2					1				
	核医学検査技術学	3後	2					1				兼1
	核医学検査機器学	3後	2									兼1
	核医学検査技術学演習	4後		1				1				
	放射線治療技術学概論	3前	2			1						兼1
	放射線治療技術学	3後	2			1						兼1
	放射線治療計測学	4前	1			1						
	放射線治療機器学	3後	1									兼1
	放射線治療技術学演習	4後		1		1						
	医療画像処理学	2後	1					1				
	医療画像工学	3前	2					1				
	医療画像情報学	3後	2					1				
	医療画像情報学演習	4後		1				1				
	医療情報管理学	4前	1						1			兼1
	放射線安全管理学	3後	2			1						
	医療機器安全管理学	4前	1			1						
	関係法規	4前	1									兼1
	放射線カウンセリング学	4前		1		1						
	医療職としての責任と役割	4前	1									兼1
医療安全管理学	4後	1			1						兼7	
応急処置法(演習)	4前	1										
臨床実習Ⅰ	3後	4			6		3					
臨床実習Ⅱ	4後	6			5		3					
放射線技術学特別講義	4前		1		1						兼5	
総合演習Ⅰ(専門基礎領域)	4後		1		3		1	1			兼1	
総合演習Ⅱ(臨床領域)	4後		1		1		2	1			兼1	
卒業研究	4通	4			6		3	1				
小計(44科目)	-	63	10	0								
合計(104科目)	-	102	42	0								
卒業要件及び履修方法												
基礎教育科目:必修科目10単位、選択科目10単位以上 専門基礎教育科目:必修科目29単位、選択科目7単位以上 専門教育科目:必修科目63単位、選択科目7単位以上 履修の上限単位 1年生:34単位、2年生:40単位、3年生:42単位、4年生:28単位												

【平成28年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					専 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
			修	修	由	授	授	師	教	手		
基 礎 教 育 科 目	生命科学	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	倫理学	1前		1								兼1
	生命倫理	1後		1								兼1
	宗教と思想	1前		1								兼1
	人間関係論	1前		1								兼1
	文化人類学	1後		1								兼1
	社会学	1前		1								兼1
	法学	1後		1								兼1
	教育学	1後		1								兼1
	北海道史	1前		1								兼1
	ボランティア活動	1後		1								兼1
	物理学	1前	2									兼1
	化学	1後		1		1						兼1
	生物学	1前		1								兼1
	生活と運動	1前		1								兼1
	健康とスポーツ	2前		1								兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2									兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後		1								兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後		1								兼1
	情報科学	1前		1					1			兼1
	情報科学演習	1後		1					1			兼1
	日本語表現	1前			1							兼1
	英語Ⅰ	1前		1								兼1
	英語Ⅱ	1後		1								兼1
	英語Ⅲ	2前			1							兼1
	中国語	2前			1							兼1
小計(27科目)	-	10	19	0								
専 門 基 礎 教 育 科 目	医学概論	1前		1								兼1
	系統解剖学	2前		2								兼1
	臨床解剖学	2後		2								兼1
	臨床解剖学演習	3前			1	1						兼1
	生理学	2後			1							兼1
	病態生理学	3前		1								兼1
	病理学	2後		1								兼1
	生化学	2前		1								兼1
	薬理学	2前			1							兼1
	臨床薬理学	2後		1								兼1
	衛生学	1後		1								兼1
	公衆衛生学	1後		1								兼1
	臨床医学概論	2後		2								兼1
	臨床医学演習	3前			1							兼1
	放射線科学概論	1前		1		2						兼1
	診療放射線学概論	1後		1		1		1				兼1
	放射線生物学	2前		2								兼1
	放射線生物学演習	2後			1							兼1
	放射線物理学	1後		2		1						兼1
	放射線物理学演習	2前			1	1						兼1
	放射線物理学実験	2前		1		2		1				兼1
	放射化学	2前		2		1						兼1
	放射化学演習	2後			1	1						兼1
	電気・電子工学	2前			2		1					兼1
	医用工学	2後		2		1						兼1
	医用工学実験	2前			1	2		2				兼1
	放射線計測学	3前		2		1						兼1
放射線計測学演習	4前			1	1						兼1	
基礎看護学	2前		1								兼1	
医療コミュニケーション学	1後		1		1						兼1	
チーム医療論	2後		1								兼1	
医療経済学	2前			1			1				兼1	
臨床心理学	2後			1							兼1	
小計(33科目)		29	13	0								

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					任 ・ 兼 担	
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 教育 科目	生命科学	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	倫理学	1前		1								兼1
	生命倫理	1後		1								兼1
	宗教と思想	1前		1								兼1
	人間関係論	1前		1								兼1
	文化人類学	1後		1								兼1
	社会学	1前		1								兼1
	法学	1後		1								兼1
	教育学	1前		1								兼1
	北海道史	1前		1								兼1
	ボランティア活動	1後		1								兼1
	物理学	1前	2									兼1
	化学	1後		1		1						
	生物学	1前		1								兼1
	生活と運動	1前		1								兼1
	健康とスポーツ	2前		1								兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2									兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後		1								兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後		1								兼1
	情報科学	1前		1					1			
	情報科学演習	1後		1					1			
	日本語表現	1前			1							
	英語Ⅰ	1前		1								兼1
	英語Ⅱ	1後		1								兼1
	英語Ⅲ	2前			1							兼1
	中国語	2前			1							兼1
小計(27科目)	-	10	19	0								
専門 基礎 教育 科目	医学概論	1前	1									兼1
	系統解剖学	2前	2									兼1
	臨床解剖学	2後	2									兼1
	臨床解剖学演習	3前		1		1						
	生理学	2後		1								兼1
	病態生理学	3前		1								兼1
	病理学	2後		1								兼1
	生化学	2前		1								兼1
	薬理学	2前			1							兼1
	臨床薬理学	2後		1								兼1
	衛生学	1後		1								兼1
	公衆衛生学	1後		1								兼1
	臨床医学概論	2後	2									兼1
	臨床医学演習	3前		1								兼1
	放射線科学概論	1前		1		2						
	診療放射線学概論	1後		1		1		1				
	放射線生物学	2前	2									兼1
	放射線生物学演習	2後		1								兼1
	放射線物理学	1後	2			1						
	放射線物理学演習	2前		1		1						
	放射線物理学実験	2前		1		2		2				兼1
	放射化学	2前	2			1						
	放射化学演習	2後		1		1						
	電気・電子工学	2前			2							兼1
	医用工学	2後	2			1						兼1
	医用工学実験	2前		1		2		2				兼1
	放射線計測学	3前	2			1						
放射線計測学演習	4前		1		1							
基礎看護学	2前		1								兼1	
医療コミュニケーション学	1後		1		1							
チーム医療論	2後		1								兼1	
医療経済学	2前			1			1					
臨床心理学	2後			1							兼1	
小計(33科目)	-	29	13	0								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必	選	自	教	准	講	助	助	手	
専門教育科目	診療画像技術学概論	2前	1					1				
	診療画像技術学 I (一般撮影)	2後	2					1				
	診療画像技術学 II (造影検査)	3前	2			1						
	X線CT検査学	3前	2					1				
	MRI検査学	3後	2			1						
	超音波検査学	3後	2					1				
	診療画像技術学実験 I (X線検査)	2後	1			2		1				兼3
	診療画像技術学実験 II (CT・超音波)	3前	1			1		3				兼3
	診療画像機器学	2後	2			1						兼1
	診療画像機器学演習	3前		1		1						
	診療画像機器学実験	3後	1			2		1				兼1
	画像解剖学 I (X線画像)	2後	2					1				
	画像解剖学 II (MRI・超音波・造影画像)	3前	2			1						
	画像解剖学 III (演習)	3後		1				1				
	画像診断学 I (頭部・頸部・背髄)	3後	2					1				
	画像診断学 II (胸部・心大血管・消化器他)	4前	2			1						
	画像診断学 III (演習)	4後		1		1						
	核医学検査技術学概論	3前	2					1				
	核医学検査技術学	3後	2					1				
	核医学検査機器学	3後	2									兼1
	核医学検査技術学演習	4後		1				1				
	放射線治療技術学概論	3前	2			1						
	放射線治療技術学	3後	2			1						
	放射線治療計測学	4前	1			1						
	放射線治療機器学	3後	1									兼1
	放射線治療技術学演習	4後		1		1						
	医療画像処理学	2後	1					1				
	医療画像工学	3前	2					1				
	医療画像情報学	3後	2					1				
	医療画像情報学演習	4後		1				1				
	医療情報管理学	4前	1					1				
	放射線安全管理学	3後	2			1						
	医療機器安全管理学	4前	1			1						
	関係法規	4前	1									兼1
	放射線カウンセリング学	4前		1		1						
	医療職としての責任と役割	4前	1									兼1
	医療安全管理学	4後	1			1						兼1
	応急処置法(演習)	4前	1									兼1
	臨床実習 I	3後	4			4		2				
	臨床実習 II	4後	6			3		2				
	放射線技術学特別講義	4前		1		1						兼4
	総合演習 I (専門基礎領域)	4後		1		2						兼3
	総合演習 II (臨床領域)	4後		1		1		2				
	卒業研究	4通	4			4		2				
小計(77科目)			-	63	10	0						
合計(104科目)			-	102	42	0						
卒業要件及び履修方法												
基礎教育科目: 必修科目10単位、選択科目10単位以上												
専門基礎教育科目: 必修科目29単位、選択科目7単位以上												
専門教育科目: 必修科目63単位、選択科目7単位以上												
履修の上限単位 1年生:34単位、2年生:40単位、3年生:42単位、4年生:28単位												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必	選	自	教	准	講	助	助	手	
専門教育科目	診療画像技術学概論	2前	1					1				
	診療画像技術学 I (一般撮影)	2後	2					1				
	診療画像技術学 II (造影検査)	3前	2			1						
	X線CT検査学	3前	2					1				
	MRI検査学	3後	2			1						
	超音波検査学	3後	2					1				
	診療画像技術学実験 I (X線検査)	2後	1			2		1				兼5
	診療画像技術学実験 II (CT・超音波)	3前	1			1		3				兼3
	診療画像機器学	2後	2			1						兼1
	診療画像機器学演習	3前		1		1						
	診療画像機器学実験	3後	1			2		1				兼1
	画像解剖学 I (X線画像)	2後	2					1				
	画像解剖学 II (MRI・超音波・造影画像)	3前	2			1						
	画像解剖学 III (演習)	3後		1				1				
	画像診断学 I (頭部・頸部・背髄)	3後	2					1				
	画像診断学 II (胸部・心大血管・消化器他)	4前	2			1						
	画像診断学 III (演習)	4後		1		1						
	核医学検査技術学概論	3前	2					1				
	核医学検査技術学	3後	2					1				
	核医学検査機器学	3後	2									兼1
	核医学検査技術学演習	4後		1				1				
	放射線治療技術学概論	3前	2			1						
	放射線治療技術学	3後	2			1						
	放射線治療計測学	4前	1			1						
	放射線治療機器学	3後	1									兼1
	放射線治療技術学演習	4後		1		1						
	医療画像処理学	2後	1					1				
	医療画像工学	3前	2					1				
	医療画像情報学	3後	2					1				
	医療画像情報学演習	4後		1				1				
	医療情報管理学	4前	1					1				
	放射線安全管理学	3後	2			1						
	医療機器安全管理学	4前	1			1						
	関係法規	4前	1									兼1
	放射線カウンセリング学	4前		1		1						
	医療職としての責任と役割	4前	1									兼1
	医療安全管理学	4後	1			1						兼1
	応急処置法(演習)	4前	1									兼1
	臨床実習 I	3後	4			5		4				
	臨床実習 II	4後	6			4		4				
	放射線技術学特別講義	4前		1		1						兼4
	総合演習 I (専門基礎領域)	4後		1		2		1				兼3
	総合演習 II (臨床領域)	4後		1		1		3				
	卒業研究	4通	4			5		4				
小計(77科目)			-	63	10	0						
合計(104科目)			-	102	42	0						
卒業要件及び履修方法												
基礎教育科目: 必修科目10単位、選択科目10単位以上												
専門基礎教育科目: 必修科目29単位、選択科目7単位以上												
専門教育科目: 必修科目63単位、選択科目7単位以上												
履修の上限単位 1年生:34単位、2年生:40単位、3年生:42単位、4年生:28単位												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
基礎教育科目	生命科学	1前	1								兼1
	心理学	1前	1								兼1
	倫理学	1前		1							兼1
	生命倫理	1後		1							兼1
	宗教と思想	1前		1							兼1
	人間関係論	1前		1							兼1
	文化人類学	1後		1							兼1
	社会学	1前		1							兼1
	法学	1後		1							兼1
	教育学	1前		1							兼1
	北海道史	1前		1							兼1
	ボランティア活動	1後		1							兼1
	物理学	1前	2								兼1
	化学	1後		1		1					兼1
	生物学	1前		1							兼1
	生活と運動	1前		1							兼1
	健康とスポーツ	2前		1							兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2								兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後		1							兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後		1							兼1
	情報科学	1前		1				1			兼1
	情報科学演習	1後		1				1			兼1
	日本語表現	1前		1							兼1
	英語Ⅰ	1前		1							兼1
	英語Ⅱ	1後		1							兼1
	英語Ⅲ	2前		1							兼1
	中国語	2前		1							兼1
	小計(27科目)	-	10	19	0						
専門基礎教育科目	医学概論	1前	1								兼1
	系統解剖学	2前	2								兼1
	臨床解剖学	2後	2								兼1
	臨床解剖学演習	3前		1		1					兼1
	生理学	2後		1							兼1
	病態生理学	3前		1							兼1
	病理学	2後		1							兼1
	生化学	2前		1							兼1
	薬理学	2前		1							兼4
	臨床薬理学	2後		1							兼4
	衛生学	1後		1							兼1
	公衆衛生学	1後		1							兼1
	臨床医学概論	2後	2								兼1
	臨床医学演習	3前		1							兼1
	放射線科学概論	1前		1		2					兼1
	診療放射線学概論	1後		1		1		1			兼1
	放射線生物学	2前		2							兼1
	放射線生物学演習	2後		1							兼1
	放射線物理学	1後		2		1					兼1
	放射線物理学演習	2前		1		1					兼1
	放射線物理学実験	2前		1		2		2			兼2
	放射化学	2前		2		1					兼1
	放射化学演習	2後		1		1					兼1
	電気・電子工学	2前		2		1					兼1
	医用工学	2後		2		1					兼1
	医用工学実験	2前		1		2		2			兼2
	放射線計測学	3前		2		1					兼1
	放射線計測学演習	4前		1		1					兼1
	基礎看護学	2前		1							兼1
	医療コミュニケーション学	1後		1		1					兼1
	チーム医療論	2後		1							兼1
	医療経済学	2前		1				1			兼1
	臨床心理学	2後		1							兼1
	小計(33科目)	-	29	13	0						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	手	
専門教育科目	診療画像技術学概論	2前	1				1				
	診療画像技術学Ⅰ(一般撮影)	2後	2				1				
	診療画像技術学Ⅱ(造影検査)	3前	2			1					
	X線CT検査学	3前	2				1				
	MRI検査学	3後	2			1					
	超音波検査学	3後	2				1				兼1
	診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)	2後	1			2	1				兼4
	診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)	3前	1			1	3				兼5
	診療画像機器学	2後	2			1					兼1
	診療画像機器学	3前		1		1					兼3
	診療画像機器学	3後	1			2	1				兼5
	画像解剖学Ⅰ(X線画像)	2後	2				1				
	画像解剖学Ⅱ(MRI・超音波・造影画像)	3前	2			1					
	画像解剖学Ⅲ(演習)	3後		1			1				
	画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・背髄)	3後	2				1				
	画像診断学Ⅱ(胸部・心大血管・消化器他)	4前	2			1					
	画像診断学Ⅲ(演習)	4後		1		1					
	核医学検査技術学概論	3前	2				1				
	核医学検査技術学	3後	2				1				
	核医学検査機器学	3後	2								兼1
	核医学検査技術学演習	4後		1			1				
	放射線治療技術学概論	3前	2			1					
	放射線治療技術学	3後	2			1					
	放射線治療計測学	4前	1			1					
	放射線治療機器学	3後	1								兼1
	放射線治療技術学演習	4後		1		1					
	医療画像処理学	2後	1				1				
	医療画像工学	3前	2				1				
	医療画像情報学	3後	2				1				
	医療画像情報学演習	4後		1			1				
	医療情報管理学	4前	1				1				
	放射線安全管理学	3後	2			1					
	医療機器安全管理学	4前	1			1					
	関係法規	4前	1								兼1
	放射線カウンセリング学	4前		1		1					
	医療職としての責任と役割	4前	1								兼1
	医療安全管理学	4後	1			1					
	応急処置法(演習)	4前	1								兼1
	臨床実習Ⅰ	3後	4			6	4				
	臨床実習Ⅱ	4後	6			5	4				
	放射線技術学特別講義	4前		1		1					兼4
	総合演習Ⅰ(専門基礎領域)	4後		1		3	1				
	総合演習Ⅱ(臨床領域)	4後		1		1	3				
	卒業研究	4通	4			6	4				
小計(44科目)		-	63	10	0						
合計(104科目)		-	102	42	0						
卒業要件及び履修方法											
基礎教育科目:必修科目10単位、選択科目10単位以上											
専門基礎教育科目:必修科目28単位、選択科目7単位以上											
専門教育科目:必修科目63単位、選択科目7単位以上											
履修の上限単位 1年生:34単位、2年生:40単位、3年生:42単位、4年生:28単位											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・平成28年4月「人間関係論」の兼任講師を変更。

【平成29年度】

- ・学修効果向上のため、「教育学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・平成29年4月「北海道史」の兼任講師を変更。
- ・平成29年4月「英語Ⅱ」の兼任講師を変更。
- ・平成29年4月「英語Ⅲ」の兼任講師を変更。
- ・担当教員充実のため、「薬理学」の兼任講師を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・担当教員充実のため、「臨床薬理学」の兼任講師を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・担当教員充実のため、「放射線物理学実験」の専任教員等「講師1」から「講師2」に、「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員充実のため、「電気・電子工学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員充実のため、「医用工学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員充実のため、「医用工学実験」の兼任講師を「兼0」から「兼2」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の兼任講師を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像機器学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。

【平成30年度】

- ・「公衆衛生学」の兼任講師を変更。
- ・「臨床医学演習」の兼任講師を変更。
- ・「医学概論」の兼任講師を変更。
- ・「病理生理学」の兼任講師を変更。
- ・「病理学」の兼任講師を変更。
- ・「物理学」「放射線物理学実験」の兼任講師を変更。
- ・「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の兼任講師を変更し、兼任講師を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・担当教員充実のため、「超音波検査学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)」の兼任講師を変更し、「兼3」から「兼5」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像機器学演習」の兼任講師を「兼0」から「兼3」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像機器学実験」の兼任講師を「兼1」から「兼5」に変更。

【令和元年度】

- ・「薬理学」の兼任講師を変更し、「兼4」から「兼1」に変更。
- ・「臨床薬理学」の兼任講師を変更し、兼任講師を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・「放射線物理学実験」の専任講師を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・「医用工学実験」の専任講師を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・「医療経済学」の専任講師を「1」から「0」に変更し、兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・「X線CT検査学」の専任講師を変更。
- ・「MRI検査学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・「医療情報管理学」の専任講師を「講師1」から「助教1」に変更し、兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・「応急処置法(演習)」の兼任講師を変更し、兼任講師を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・「画像解剖学Ⅲ(演習)」の専任講師を変更し、兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・「画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・背髄)」の専任講師を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・「臨床実習Ⅰ」の専任講師を「講師4」から「講師3」に変更。
- ・「臨床実習Ⅱ」の専任講師を「講師4」から「講師3」に変更。
- ・「総合演習Ⅰ(専門基礎領域)」の専任講師を「講師3」から「講師2」に変更し、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「総合演習Ⅱ(臨床領域)」の専任講師を「講師4」から「講師3」に変更し、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)」の専任講師を「講師3」から「講師2」に変更し、「兼5」から「兼6」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像機器学」の兼任講師を変更し、「兼1」から「兼3」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像機器学演習」の兼任講師を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・担当教員充実のため、「診療画像機器学実験」の兼任講師を「兼3」から「兼6」に変更。
- ・担当教員充足のため、「核医学検査技術学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員充足のため、「放射線治療技術学概論」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員充足のため、「放射線治療技術学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員充足のため、「放射線技術学特別講義」の兼任講師を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・担当教員充足のため、「総合演習Ⅰ(専門基礎領域)」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員充足のため、「総合演習Ⅱ(臨床領域)」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
63 科目	41 科目	0 科目	104 科目	63 科目 [0]	41 科目 [0]	0 科目 [0]	104 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{104} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(備用地) 運動場 面積：13,710㎡ 期間：20年 駐車場 面積：3,058㎡ 期間：1年自動 更新		
	校 舎 敷 地	29,831㎡	0㎡	0㎡	29,831㎡			
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡			
	小 計	43,541㎡	0㎡	0㎡	43,541㎡			
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡			
	合 計	46,599㎡	0㎡	0㎡	46,599㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	16,060.03㎡ (5,623.13㎡)	0.00㎡ (8,630.68㎡)	0.00㎡ (1,806.22㎡)	16,060.03㎡ (16,060.03㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(28) 情報処理室は看護 学科と共用		
	4室	7室	7室	1室 (補助職員 人)	情報処理室と共用 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	保健医療学部 診療放射線学科			10 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(28) 電子ジャーナルに ついては、契約データ ベースとオープン ジャーナル
	保健医療学部 診療放射線学科	2,701 [52] 2,577 [29]	10 [2] 63 [25]	6 [2] 5 [5] 8 [8]	29 33	834	25	
		(2,424 [52]) (2,154 [52]) (1,931 [50]) (1,815 [49]) (1,767 [49])	10 [2] 12 [4] 13 [5] 18 [5]	(6 [2]) (3 [3]) (5 [5]) (4 [4])	(29) (31) (26) (33)	(834)	(25)	
		計	2,701 [52] 2,577 [29]	10 [2] 63 [25]	6 [2] 5 [5] 8 [8]	29 33	834	
		(2,424 [52]) (2,154 [52]) (1,931 [50]) (1,815 [49]) (1,767 [49])	10 [2] 12 [4] 13 [5] 18 [5]	(6 [2]) (3 [3]) (5 [5]) (4 [4])	(29) (31) (26) (33)	(834)	(25)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		(28) 図書館は看護学科 と共用	
	328.34㎡		80席		29,160冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					(28) 体育館は看護学科 と共用
	660.00㎡ (該 当 な し)							
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,818千円	3,000千円	
	共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	70,662千円	2,000千円	2,000千円	
		学生1人当 り 納付金	第1年次 1,400千円	第2年次 1,400千円	第3年次 1,400千円	第4年次 1,400千円	第5年次 千円	第6年次 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、補助金等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	日 本 医 療 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
保健医療学部										
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09		平成26年度	北海道札幌市清田区 真栄434番地1	定員変更 (20)
リハビリテーション学科	4	120	-	320	学士 (リハビリテーション学)	0.72		平成27年度	北海道恵庭市恵み野 西6丁目17番3号	定員変更 (40)
理学療法専攻	4	80	-	320	学士 (リハビリテーション学)	0.90		平成27年度	北海道恵庭市恵み野 西6丁目17番3号	定員変更 (40)
作業療法専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.51		平成27年度	北海道恵庭市恵み野 西6丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.13		平成28年度	北海道札幌市清田区 真栄434番地1	
大学 の 名 称	〇 〇 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				(該当なし)

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜保健医療学部 診療放射線学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成28年度】		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専 教授	スミヨシ タカシ 住吉 孝 (67) 平成28年4月	専 教授	スミヨシ タカシ 住吉 孝 (67) 平成28年4月	専 教授	スミヨシ タカシ 住吉 孝 (68) 平成28年4月	専 教授	スミヨシ タカシ 住吉 孝 (70) 平成28年4月
	化学 放射線物理学 放射線物理学演習 放射化学 放射線計測学 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 卒業研究		化学 放射線物理学 放射線物理学演習 放射化学 放射線計測学 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 卒業研究		化学 放射線物理学 放射線物理学演習 放射化学 放射線計測学 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 卒業研究		化学 放射線物理学 放射線物理学演習 放射化学 放射線計測学 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 卒業研究
専 教授	ワタナベ ヨシハル 渡邊 良晴 (66) 平成30年4月	専 教授	ワタナベ ヨシハル 渡邊 良晴 (66) 平成30年4月	専 教授	ワタナベ ヨシハル 渡邊 良晴 (67) 平成30年4月	専 教授	ワタナベ ヨシハル 渡邊 良晴 (68) 平成30年4月
	放射線治療技術学概論 放射線治療技術学 放射線治療技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 放射線技術学特別講義※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線治療技術学概論 放射線治療技術学 放射線治療技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 放射線技術学特別講義※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線治療技術学概論 放射線治療技術学 放射線治療技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 放射線技術学特別講義※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線治療技術学概論 放射線治療技術学 放射線治療技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 放射線技術学特別講義※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究
専 教授	ニシヤマ アツシ 西山 篤 (65) 平成28年4月	専 教授	ニシヤマ アツシ 西山 篤 (65) 平成28年4月	専 教授	ニシヤマ アツシ 西山 篤 (67) 平成28年4月	専 教授	ニシヤマ アツシ 西山 篤 (68) 平成28年4月
	放射線科学概論 診療放射線学概論 電気・電子工学 医用工学 診療画像機器学 診療画像機器学演習 医用工学実験 診療画像機器学実験 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線科学概論 診療放射線学概論 電気・電子工学 医用工学 診療画像機器学 診療画像機器学演習 医用工学実験 診療画像機器学実験 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線科学概論 診療放射線学概論 電気・電子工学 医用工学 診療画像機器学 診療画像機器学演習 医用工学実験 診療画像機器学実験 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線科学概論 診療放射線学概論 電気・電子工学 医用工学 診療画像機器学 診療画像機器学演習 医用工学実験 診療画像機器学実験 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究
専 教授	カワハラダ ヤスヒロ 河原田 泰寿 (65) 平成29年4月	専 教授	カワハラダ ヤスヒロ 河原田 泰寿 (65) 平成29年4月	専 教授	カワハラダ ヤスヒロ 河原田 泰寿 (66) 平成29年4月	専 教授	カワハラダ ヤスヒロ 河原田 泰寿 (67) 平成29年4月
	放射線計測学演習 放射線安全工学 医療機器安全管理学 放射線力ワンセリング学 医用工学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線計測学演習 放射線安全工学 医療機器安全管理学 放射線力ワンセリング学 医用工学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線計測学演習 放射線安全工学 医療機器安全管理学 放射線力ワンセリング学 医用工学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線計測学演習 放射線安全工学 医療機器安全管理学 放射線力ワンセリング学 医用工学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究
専 教授	ヒグチ ケンタ 樋口 健太 (46) 平成28年4月	専 教授	ヒグチ ケンタ 樋口 健太 (46) 平成28年4月	専 教授	ヒグチ ケンタ 樋口 健太 (47) 平成28年4月	専 教授	ヒグチ ケンタ 樋口 健太 (48) 平成28年4月
	医療コミュニケーション学 放射化学演習 臨床放射線学演習 画像診断学Ⅱ(演習) 放射線物理学実験 放射線物理学実験Ⅰ (X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		医療コミュニケーション学 放射化学演習 臨床放射線学演習 画像診断学Ⅱ(演習) 放射線物理学実験 放射線物理学実験Ⅰ (X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		医療コミュニケーション学 放射化学演習 臨床放射線学演習 画像診断学Ⅱ(演習) 放射線物理学実験 放射線物理学実験Ⅰ (X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		医療コミュニケーション学 放射化学演習 臨床放射線学演習 画像診断学Ⅱ(演習) 放射線物理学実験 放射線物理学実験Ⅰ (X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究
専 教授	タワラ ノリユキ 俵 紀行 (46) 平成28年4月	専 教授	タワラ ノリユキ 俵 紀行 (46) 平成28年4月	専 教授	タワラ ノリユキ 俵 紀行 (44) 平成28年4月	専 教授	タワラ ノリユキ 俵 紀行 (46) 平成28年4月
	放射線科学概論 診療画像技術学Ⅱ(造影検査) MRI検査学 画像診断学Ⅱ (MRI・超音波・造影画像) 医療安全管理学 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像機器学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線科学概論 診療画像技術学Ⅱ(造影検査) MRI検査学 画像診断学Ⅱ (MRI・超音波・造影画像) 医療安全管理学 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像機器学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線科学概論 診療画像技術学Ⅱ(造影検査) MRI検査学 画像診断学Ⅱ (MRI・超音波・造影画像) 医療安全管理学 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像機器学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		放射線科学概論 診療画像技術学Ⅱ(造影検査) MRI検査学 画像診断学Ⅱ (MRI・超音波・造影画像) 医療安全管理学 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像機器学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究
専 講師	キムラ トオル 木村 徹 (49) 平成29年4月	専 講師	キムラ トオル 木村 徹 (49) 平成29年4月	専 講師	キムラ トオル 木村 徹 (50) 平成29年4月	専 講師	キムラ トオル 木村 徹 (52) 平成29年4月
	医療画像処理学 医療画像工学 医療画像情報学 医療画像情報学演習 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		医療画像処理学 医療画像工学 医療画像情報学 医療画像情報学演習 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		医療画像処理学 医療画像工学 医療画像情報学 医療画像情報学演習 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究		医療画像処理学 医療画像工学 医療画像情報学 医療画像情報学演習 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究

兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年> 保有学位等
	職名	職名	職名	職名	職名
	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専 講師	スギモト ヨシノリ 杉本 芳則 (57) 平成28年4月	スギモト ヨシノリ 杉本 芳則 (57) 平成28年4月	スギモト ヨシノリ 杉本 芳則 (56) 平成28年4月	スギモト ヨシノリ 杉本 芳則 (59) 平成28年4月	スギモト ヨシノリ 杉本 芳則 (60) 平成28年4月
	情報科学 情報科学演習 診療画像技術学概論 診療画像技術学Ⅰ(一般撮影) 超音波検査学 画像解剖学Ⅰ(X線画像) 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 卒業研究	情報科学 情報科学演習 診療画像技術学概論 診療画像技術学Ⅰ(一般撮影) 超音波検査学 画像解剖学Ⅰ(X線画像) 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	情報科学 情報科学演習 診療画像技術学概論 診療画像技術学Ⅰ(一般撮影) 超音波検査学 画像解剖学Ⅰ(X線画像) 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	情報科学 情報科学演習 診療画像技術学概論 診療画像技術学Ⅰ(一般撮影) 超音波検査学 画像解剖学Ⅰ(X線画像) 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	情報科学 情報科学演習 診療画像技術学概論 診療画像技術学Ⅰ(一般撮影) 超音波検査学 画像解剖学Ⅰ(X線画像) 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究
専 講師	フジワラ ケンスケ 藤原 健祐 (35) 平成29年4月	フジワラ ケンスケ 藤原 健祐 (35) 平成29年4月	フジワラ ケンスケ 藤原 健祐 (36) 平成29年4月	フジワラ ケンスケ 藤原 健祐 (37) 平成29年4月	フジワラ ケンスケ 藤原 健祐 (36) 平成29年4月
	医療経済学 X線CT検査学 画像解剖学Ⅱ(演習) 画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・腎臓) 医療情報管理学 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	医療経済学 X線CT検査学 画像解剖学Ⅱ(演習) 画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・腎臓) 医療情報管理学 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	医療経済学 X線CT検査学 画像解剖学Ⅱ(演習) 画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・腎臓) 医療情報管理学 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究 放射線物理学実験	医療経済学 X線CT検査学 画像解剖学Ⅱ(演習) 画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・腎臓) 医療情報管理学 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究 放射線物理学実験	医療経済学 X線CT検査学 画像解剖学Ⅱ(演習) 画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・腎臓) 医療情報管理学 医用工学実験 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究
専 講師	コヤマ カズヤ 小山 和也 (32) 平成28年4月	コヤマ カズヤ 小山 和也 (32) 平成28年4月	コヤマ カズヤ 小山 和也 (33) 平成28年4月	コヤマ カズヤ 小山 和也 (34) 平成28年4月	コヤマ カズヤ 小山 和也 (35) 平成28年4月
	診療放射線学概論 核医学検査技術学概論 核医学検査技術学 核医学検査技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 診療画像機器学実験 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	診療放射線学概論 核医学検査技術学概論 核医学検査技術学 核医学検査技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 診療画像機器学実験 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	診療放射線学概論 核医学検査技術学概論 核医学検査技術学 核医学検査技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 診療画像機器学実験 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	診療放射線学概論 核医学検査技術学概論 核医学検査技術学 核医学検査技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 診療画像機器学実験 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究	診療放射線学概論 核医学検査技術学概論 核医学検査技術学 核医学検査技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底) 診療画像機器学実験 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅱ 卒業研究
兼任 教授	モンマ マサコ 門間 正子 (60) 平成29年4月	モンマ マサコ 門間 正子 (60) 平成29年4月	モンマ マサコ 門間 正子 (61) 平成29年4月	モンマ マサコ 門間 正子 (62) 平成29年4月	モンマ マサコ 門間 正子 (63) 平成29年4月
	基礎看護学	基礎看護学	基礎看護学	基礎看護学	基礎看護学
兼任 教授	ムラマツ ツカサ 村松 幸 (72) 平成28年4月	ムラマツ ツカサ 村松 幸 (72) 平成28年4月	ムラマツ ツカサ 村松 幸 (73) 平成28年4月	ムラマツ ツカサ 村松 幸 (74) 平成30年4月	ムラマツ ツカサ 村松 幸 (75) 平成30年4月
	衛生学 公衆衛生学	衛生学 公衆衛生学	衛生学 公衆衛生学	衛生学 公衆衛生学	衛生学 公衆衛生学
兼任 教授	ハヤシ ミエコ 林 美枝子 (59) 平成28年4月	ハヤシ ミエコ 林 美枝子 (59) 平成28年4月	ハヤシ ミエコ 林 美枝子 (60) 平成28年4月	ハヤシ ミエコ 林 美枝子 (61) 平成28年4月	ハヤシ ミエコ 林 美枝子 (62) 平成28年4月
	人間関係論 文化人類学 社会学	人間関係論 文化人類学 社会学	人間関係論 文化人類学 社会学	人間関係論 文化人類学 社会学	人間関係論 文化人類学 社会学 北海道史
兼任 准教授	モリグチ マイ 森口 真衣 (42) 平成28年4月	モリグチ マイ 森口 真衣 (42) 平成28年4月	モリグチ マイ 森口 真衣 (43) 平成28年4月	モリグチ マイ 森口 真衣 (44) 平成28年4月	モリグチ マイ 森口 真衣 (45) 平成28年4月
	倫理学 生命倫理 宗教と思想	倫理学 生命倫理 宗教と思想	倫理学 生命倫理 宗教と思想	倫理学 生命倫理 宗教と思想	倫理学 生命倫理 宗教と思想
兼任 准教授	マツモト マユミ 松本 真由美 (56) 平成28年4月	マツモト マユミ 松本 真由美 (56) 平成28年4月	マツモト マユミ 松本 真由美 (57) 平成28年4月	マツモト マユミ 松本 真由美 (58) 平成28年4月	マツモト マユミ 松本 真由美 (59) 平成28年4月
	心理学 臨床心理学	心理学 臨床心理学 人間関係論	心理学 臨床心理学 人間関係論	心理学 臨床心理学 人間関係論	心理学 臨床心理学 人間関係論
兼任 准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士 (39) 平成28年4月	ヤマダ アツシ 山田 敦士 (39) 平成28年4月	ヤマダ アツシ 山田 敦士 (40) 平成28年4月	ヤマダ アツシ 山田 敦士 (41) 平成28年4月	ヤマダ アツシ 山田 敦士 (42) 平成28年4月
	中国語 日本語表現	中国語 日本語表現	中国語 日本語表現	中国語 日本語表現	中国語 日本語表現
兼任 講師	コウダ トシアキ 幸田 敏明 (58) 平成28年4月	コウダ トシアキ 幸田 敏明 (58) 平成28年4月	コウダ トシアキ 幸田 敏明 (59) 平成28年4月	コウダ トシアキ 幸田 敏明 (60) 平成30年4月	コウダ トシアキ 幸田 敏明 (61) 平成30年4月
	生命科学 関係法規	生命科学 関係法規	生命科学 関係法規	生命科学 関係法規 臨床医学演習	生命科学 関係法規 臨床医学演習

[illegible]

兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ハシモト シゲル 橋本 茂 (53) 平成28年4月	兼任	講師	ハシモト シゲル 橋本 茂 (53) 平成28年4月	兼任	講師	ハシモト シゲル 橋本 茂 (54) 平成28年4月			
		医学概論 臨床医学演習			医学概論 臨床医学演習			医学概論 臨床医学演習			
兼任	講師	ウカイ ワタル 鶴岡 渉 (49) 平成28年4月	兼任	講師	ウカイ ワタル 鶴岡 渉 (49) 平成28年4月	兼任	講師	ウカイ ワタル 鶴岡 渉 (50) 平成28年4月	兼任	講師	ウカイ ワタル 鶴岡 渉 (52) 平成28年4月
		生物学			生物学			生物学			生物学
兼任	講師	ホンダ リサ 本多 理紗 (38) 平成28年4月	兼任	講師	ホンダ リサ 本多 理紗 (38) 平成28年4月	兼任	講師	ホンダ リサ 本多 理紗 (39) 平成28年4月	兼任	講師	ホンダ リサ 本多 理紗 (40) 平成28年4月
		生活と運動 健康とスポーツ			生活と運動 健康とスポーツ			生活と運動 健康とスポーツ			生活と運動 健康とスポーツ
兼任	講師	イトウ タカアキ 伊東 孝明 (66) 平成28年4月	兼任	講師	イトウ タカアキ 伊東 孝明 (66) 平成28年4月	兼任	講師	イトウ タカアキ 伊東 孝明 (66) 平成28年4月	兼任	講師	イトウ タカアキ 伊東 孝明 (67) 平成28年4月
		数学Ⅰ(指数・対数・三角関数) 数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式) 数学Ⅲ(統計学)			数学Ⅰ(指数・対数・三角関数) 数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式) 数学Ⅲ(統計学)			数学Ⅰ(指数・対数・三角関数) 数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式) 数学Ⅲ(統計学)			数学Ⅰ(指数・対数・三角関数) 数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式) 数学Ⅲ(統計学)
兼任	講師	セナハ イクコ 瀬名波 郁子 (63) 平成28年4月	兼任	講師	セナハ イクコ 瀬名波 郁子 (63) 平成28年4月	兼任	講師	セナハ イクコ 瀬名波 郁子 (64) 平成28年4月	兼任	講師	セナハ イクコ 瀬名波 郁子 (65) 平成28年4月
		英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ
兼任	講師	小林サリー・マスミ (71) 平成29年4月	兼任	講師	小林サリー・マスミ (71) 平成29年4月	兼任	講師	小林サリー・マスミ (72) 平成29年4月	兼任	講師	小林サリー・マスミ (73) 平成29年4月
		英語Ⅲ			英語Ⅲ			英語Ⅱ 英語Ⅲ			英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	ゼフ・ブルックリン (62) 平成28年4月	兼任	講師	ゼフ・ブルックリン (52) 平成28年4月	兼任	講師	ゼフ・ブルックリン (53) 平成29年4月	兼任	講師	ゼフ・ブルックリン (54) 平成29年4月
		英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ 英語Ⅲ			英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	イノウエ カオル 井上 馨 (69) 平成29年4月	兼任	講師	イノウエ カオル 井上 馨 (69) 平成29年4月	兼任	講師	イノウエ カオル 井上 馨 (64) 平成29年4月	兼任	講師	イノウエ カオル 井上 馨 (65) 平成29年4月
		系統解剖学 臨床解剖学			系統解剖学 臨床解剖学			系統解剖学 臨床解剖学			系統解剖学 臨床解剖学
兼任	講師	マツヤマ キヨジ 松山 清治 (59) 平成29年4月	兼任	講師	マツヤマ キヨジ 松山 清治 (59) 平成29年4月	兼任	講師	マツヤマ キヨジ 松山 清治 (60) 平成29年4月	兼任	講師	マツヤマ キヨジ 松山 清治 (61) 平成29年4月
		生理学			生理学			生理学			生理学
兼任	講師	タケダ サトエ 竹田 里江 (42) 平成30年4月	兼任	講師	タケダ サトエ 竹田 里江 (42) 平成30年4月	兼任	講師	タケダ サトエ 竹田 里江 (43) 平成30年4月			
		病態生理学			病態生理学			病態生理学			

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任 講師	イシヅ アキヒロ 石津 明洋 (51) 平成29年4月	兼任 講師	イシヅ アキヒロ 石津 明洋 (51) 平成29年4月	兼任 講師	イシヅ アキヒロ 石津 明洋 (52) 平成29年4月	兼任 講師	サトウ タツヤ 佐藤 達也 (37) 平成30年4月	兼任 講師	サトウ タツヤ 佐藤 達也 (38) 平成30年4月
	病理学		病理学		病理学		病態生理学		病態生理学
兼任 講師	ハタケヤマ シゲツグ 畠山 鎮次 (50) 平成29年4月	兼任 講師	ハタケヤマ シゲツグ 畠山 鎮次 (50) 平成29年4月	兼任 講師	ハタケヤマ シゲツグ 畠山 鎮次 (51) 平成29年4月	兼任 講師	ハタケヤマ シゲツグ 畠山 鎮次 (52) 平成29年4月	兼任 講師	ハタケヤマ シゲツグ 畠山 鎮次 (53) 平成29年4月
	生化学 臨床医学概論		生化学 臨床医学概論		生化学 臨床医学概論		生化学 臨床医学概論		生化学 臨床医学概論
兼任 講師	ヨシオカ ミツヒロ 吉岡 充弘 (57) 平成29年4月	兼任 講師	ヨシオカ ミツヒロ 吉岡 充弘 (57) 平成29年4月	兼任 講師	ヨシオカ ミツヒロ 吉岡 充弘 (58) 平成29年4月	兼任 講師	ヨシオカ ミツヒロ 吉岡 充弘 (59) 平成29年4月		
	薬理学 臨床薬理学		薬理学 臨床薬理学		薬理学 臨床薬理学		薬理学 臨床薬理学		
								兼任 講師	セキ コウイチ 関 興一 (73) 平成31年4月
									薬理学 臨床薬理学
兼任 講師	クワバラ ミキノリ 森原 幹典 (73) 平成29年4月	兼任 講師	クワバラ ミキノリ 森原 幹典 (73) 平成29年4月	兼任 講師	クワバラ ミキノリ 森原 幹典 (74) 平成29年4月	兼任 講師	クワバラ ミキノリ 森原 幹典 (75) 平成29年4月	兼任 講師	クワバラ ミキノリ 森原 幹典 (76) 平成29年4月
	放射線生物学 放射線生物学演習		放射線生物学 放射線生物学演習		放射線生物学 放射線生物学演習		放射線生物学 放射線生物学演習		放射線生物学 放射線生物学演習
兼任 講師	カツウラ ヒデノリ 勝浦 秀則 (56) 平成29年4月	兼任 講師	カツウラ ヒデノリ 勝浦 秀則 (56) 平成29年4月	兼任 講師	カツウラ ヒデノリ 勝浦 秀則 (57) 平成29年4月	兼任 講師	カツウラ ヒデノリ 勝浦 秀則 (58) 平成29年4月	兼任 講師	カツウラ ヒデノリ 勝浦 秀則 (59) 平成29年4月
	医療職としての責任と役割 核医学検査機器学 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		医療職としての責任と役割 核医学検査機器学 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		医療職としての責任と役割 核医学検査機器学 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		医療職としての責任と役割 核医学検査機器学 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		医療職としての責任と役割 核医学検査機器学 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)
兼任 講師	フジタ サトシ 藤田 智 (51) 平成29年4月	兼任 講師	フジタ サトシ 藤田 智 (51) 平成29年4月	兼任 講師	フジタ サトシ 藤田 智 (52) 平成29年4月	兼任 講師	フジタ サトシ 藤田 智 (53) 平成29年4月	兼任 講師	フジタ サトシ 藤田 智 (54) 平成29年4月
	診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)
兼任 講師	ヨコヤマ ヒロイチ 横山 博一 (55)	兼任 講師	ヨコヤマ ヒロイチ 横山 博一 (55)	兼任 講師	ヨコヤマ ヒロイチ 横山 博一 (56)	兼任 講師	ヨコヤマ ヒロイチ 横山 博一 (57)	兼任 講師	ヨコヤマ ヒロイチ 横山 博一 (58)
	診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)
								兼任 講師	オキノ クミコ 沖野 久美子 (41) 平成31年4月
									診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)
兼任 講師	サカモト オサム 坂本 修 (56) 平成30年4月	兼任 講師	サカモト オサム 坂本 修 (56) 平成30年4月	兼任 講師	サカモト オサム 坂本 修 (57) 平成30年4月	兼任 講師	サカモト オサム 坂本 修 (58) 平成30年4月	兼任 講師	サカモト オサム 坂本 修 (59) 平成30年4月
	放射線治療機器学 診療画像機器学実験		放射線治療機器学 診療画像機器学実験		放射線治療機器学 診療画像機器学実験		放射線治療機器学 診療画像機器学実験		放射線治療機器学 診療画像機器学実験
兼任 講師	ミヤシタ ソウジ 宮下 崇治 (50) 平成31年4月	兼任 講師	ミヤシタ ソウジ 宮下 崇治 (50) 平成31年4月	兼任 講師	ミヤシタ ソウジ 宮下 崇治 (51) 平成31年4月	兼任 講師	ミヤシタ ソウジ 宮下 崇治 (52) 平成31年4月	兼任 講師	ミヤシタ ソウジ 宮下 崇治 (53) 平成31年4月
	放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※
兼任 講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一 (52) 平成31年4月	兼任 講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一 (52) 平成31年4月	兼任 講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一 (53) 平成31年4月	兼任 講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一 (54) 平成31年4月	兼任 講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一 (55) 平成31年4月
	放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※

兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	タケダ ヒロミツ 武田 浩光 (56) 平成31年4月	兼任	タケダ ヒロミツ 武田 浩光 (56) 平成31年4月	兼任	タケダ ヒロミツ 武田 浩光 (56) 平成31年4月
	放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※
兼任	ホシノ ヒロシ 星野 広史 (54) 平成31年4月	兼任	ホシノ ヒロシ 星野 広史 (54) 平成31年4月	兼任	ホシノ ヒロシ 星野 広史 (57) 平成31年4月
	放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※		放射線技術学特別講義※
					マツムラ トシヤ 松村 健也 (58) 平成31年4月
					放射線技術学特別講義※
					アサヌマ オサム 浅沼 治 (44) 平成31年4月
					放射線技術学特別講義※
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任	講師	マザキ ユウイチ 真崎 雄一 (48) 平成29年4月
				薬理学 臨床薬理学	薬理学 臨床薬理学
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任	講師	ホリノウチ タカヒロ 堀之内 孝弘 (46) 平成29年4月
				薬理学 臨床薬理学	薬理学 臨床薬理学
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任	講師	ヒガシ ツネヒト 東 恒仁 (39)
				薬理学 臨床薬理学	薬理学 臨床薬理学
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任	講師	タカギ サトシ 高木 聡志 (33) 平成29年4月
				放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査)	放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像機器学実験
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任	講師	ニシヤマ シュウスケ 西山 修輔 (46) 平成29年4月
				電気・電子工学 医用工学 医用工学実験	電気・電子工学 医用工学 医用工学実験
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任	講師	トミオカ サトシ 富岡 智 (54) 平成29年4月
				医用工学実験	医用工学実験
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任	講師	ヤマギシ ヒトシ 山岸 仁 (67) 平成29年4月
				診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査)	診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査)
兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任	講師	キクチ ミノル 菊池 実 (50) 平成29年4月
				診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査)	診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 超音波検査学 診療画像技術学実験Ⅱ (CT、超音波、眼底) 診療画像機器学実験

兼任・ 兼任 の別	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)			兼任 講師	タニ ユウジ 谷 裕見 (49) 平成29年4月 診療画像機器学	兼任 講師	タニ ユウジ 谷 裕見 (51) 平成30年4月 診療画像機器学 診療画像機器学演習
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	オグラ ケイシ 小倉 圭史 (42) 平成31年4月 診療画像機器学実験
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	ハラダ コウヘイ 原田 耕平 (45) 平成31年4月 診療画像機器学実験
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	オモテ ヒデヒコ 表 英彦 (65) 平成31年4月 診療画像機器学実験
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	モリ ミツル 森 満 (67) 平成30年4月 公衆衛生学
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	ヤマシナ ヒロコ 山品 博子 (38) 平成30年4月 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査)
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	ホリタ ヒロシ 堀田 浩 (49) 平成30年4月 診療画像機器学演習 診療画像機器学
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	サトウ メグミ 佐藤 恵美 (37) 平成30年4月 診療画像技術学実験Ⅱ (CT、超音波、眼底) 診療画像機器学実験
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	オオノ ハジメ 大野 肇 (58) 平成30年4月 診療画像技術学実験Ⅱ (CT、超音波、眼底)
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	ノブタ シュウイチ 信田 修一 (58) 平成30年4月 診療画像機器学演習 診療画像機器学
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)					兼任 講師	アベ タダノリ 阿部 匡史 (42) 平成31年4月 放射線治療技術学 放射線治療技術学概論

専任・ 兼任 の別	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)							兼任 講師	ノジワラ ケンスケ 藤原 健祐 (38) 平成31年4月 医療経済学 医療情報管理学
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)							兼任 講師	ツダ ケイスケ 津田 啓介 (39) 平成31年4月 核医学検査技術学
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)							兼任 講師	クロワラビ クニオ 黒藤 邦夫 (53) 平成31年4月 画像解剖学Ⅱ(実習)
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)							兼任 講師	サオトメ コウサク 五月女 康作 (41) 平成31年4月 MRI検査学
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)							兼任 講師	ニシザワ トオル 西澤 敬 (51) 平成31年4月 総合演習Ⅰ (専門基礎領域)
	兼任講師の追加 (設置時の計画なし)							兼任 講師	ツチヤ ヒトシ 土屋 仁 (70) 平成31年4月 総合演習Ⅱ(臨床領域)

- * 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- * 「認可時又は開学時」には 設置認可時又は開学時の対象全て(兼任、兼任教員を含む。)を最半で記入してください。
- * その上で、認可時又は開学時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- * 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- * 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の年齢を記入してください。
- * 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- * 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、認めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・平成28年4月「人間関係論」の兼任講師を林美枝子から松本真由美に変更。

【平成29年度】

- ・平成29年4月「放射線物理学実験」の専任教員として藤原優祐を追加。平成29年1月AC教員審査済。
- ・学修効果向上のため、「教育学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・平成29年4月「北海道史」の兼任講師を栗本瑞恵から横島公にに変更。
- ・平成29年4月「英語Ⅱ」の兼任講師を佐藤・フ・リッリから小林利・マミに変更。
- ・平成29年4月「英語Ⅲ」の兼任講師を小林利・マミから佐藤・フ・リッリに変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「薬理学」「臨床薬理学」の兼任講師として、真崎雄一、堀之内幸弘、東 恒仁を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「放射線物理学実験」の兼任講師として、高木聡志を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「電気・電子工学」「医用工学」の兼任講師として、西山修輔を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「医用工学実験」の兼任講師として、西山修輔、高岡 智を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の兼任講師として、勝浦秀則を菊池 実に変更し、高木聡志、山岸仁を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「診療画像機器学」の兼任講師として、谷 裕児を追加。

【平成30年度】

- ・平成30年4月「公衆衛生学」の村松幸兼任講師を森道兼任講師に変更。
- ・平成30年4月「臨床医学演習」の橋本茂兼任講師を幸田敏明兼任講師に変更。
- ・平成30年4月「医学概論」の橋本茂兼任講師を橋本あり兼任講師に変更。
- ・平成30年4月「病態生理学」の竹田里江兼任講師を佐藤達也兼任講師に変更。
- ・平成30年4月「病理学」の石津明洋兼任講師を杉森博行兼任講師に変更。
- ・平成30年4月「物理学」「放射線物理学実験」の桑原修兼任講師を佐藤和宏兼任講師に変更。
- ・平成30年4月「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の横山博一兼任講師を削除し、菊池 実兼任講師を山品博子兼任講師に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「超音波検査学」の兼任講師として、菊池 実を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)」の兼任講師として、藤田智を佐藤恵美に変更し、大野 望、菊池 実を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「診療画像機器学演習」の兼任講師として、堀田 浩、信田修吾、谷 祐児を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「診療画像機器学実験」の兼任講師として、高木 聡、佐藤恵美、菊池 実、鍵田憲光を追加。

【令和元年度】

- ・平成31年4月「X線CT検査学」の専任教員として白石祐太助教教授を追加。平成31年2月教員審査済。
- ・平成31年4月「北海道史」の兼任講師を横島公講師から林美枝子教授に変更。
- ・平成31年4月「薬理学」の吉岡充弘講師、真崎雄一講師、堀之内幸弘講師、東恒仁講師から関興一講師に変更。
- ・担当の兼任講師充実のため、「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の兼任講師として、関興一講師、から関興一講師に変更。
- ・平成31年4月「応急処置法(演習)」の講師を浜島泉講師から高島弘幸講師、三角昌吾講師、大橋芳也講師、舩川雅基講師、鎌野大樹講師、赤塚吉祐講師、今村登講師に変更。
- ・平成31年4月「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の兼任教員を高木聡志講師から秋山正樹講師に変更。
- ・平成31年4月「診療画像機器学実験」の鍵田憲光講師を削除し、小倉圭史講師、原田耕平講師、教英彦講師を追加。
- ・担当の兼任講師充実のため、「放射線物理学実験」の兼任講師として、唐明輝講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)」の兼任講師として沖野久美子講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「放射線技術学特別講義」の兼任講師として松村俊也講師、浅沼治講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「診療画像機器学」の兼任講師として堀田浩講師、信田修吾講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「診療画像機器学演習」の兼任講師として谷裕児講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「放射線治療技術学」の兼任講師として阿部匡史講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「放射線治療技術学概論」の兼任講師として阿部匡史講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「医療経済学」の兼任講師として藤原優祐講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「医療情報管理学」の兼任講師として藤原優祐講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「核医学検査技術学」の兼任講師として津田啓介講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「画像解剖学Ⅲ(演習)」の兼任講師として黒坂邦夫講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「MR検査学」の兼任講師として五月女康作講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「総合演習Ⅰ(専門基礎領域)」の兼任講師として西澤徹講師を追加。
- ・担当の兼任教員充実のため、「総合演習Ⅱ(臨床領域)」の兼任講師として土屋仁講師を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の教は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
6	0	4	0	10	6	0	3	1	10
(4)	0	(2)	0	(6)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
6	0	3	1	10	6	0	3	1	10
[]	[]	[Δ]	[]	[]	[]	[]	[Δ]	[]	[]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を卒業済みであり、
完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{4}{10} = \boxed{40} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		なし								
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由科目	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
①	講師	藤原 健祐	平成31年 9月	選択	医療経済学	②	一身上の都合により辞任（30）						
				必修	X線CT検査学	①							
				選択	画像解剖学Ⅲ（演習）	①							
				必修	臨床放射学Ⅰ（基礎、実験、学修）	③							
				必修	医療情報管理学	①							
				選択	医用工学実験	①							
				必修	診療画像技術学実験Ⅱ （CT・超音波・眼底）	①							
				選択	総合演習Ⅱ（臨床演習）	①							
				必修	臨床実習Ⅰ	②							
				必修	臨床実習Ⅱ	②							
				必修	卒業研究	①							
				必修	放射線物理学実験	①							
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	8	科目	必修	5	科目	必修	2	科目	必修	1	科目
		選択	4	科目	選択	1	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	6	科目	計	5	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1	人	必修	8	科目	必修	5	科目	必修	2	科目	必修	1	科目
		選択	4	科目	選択	1	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	6	科目	計	5	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{ 合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{ 設置時の計画(A)}} = \frac{1}{10} = 10\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		なし					
合 計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 新たな専任教員の採用 ・ 専任教員間での担当科目の調整
--

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画																																																
設 置 時 (28年4月)	・ 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。なお、准教授及び助教が配置されていない計画となっているが、教員の科目負担等を考慮し、その職位の配置バランスについても留意すること。	留意事項 (28) 定年年齢（65歳）を超えて採用した専任教員及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。教員任用にあたっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。 (29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。 (30) 29年度と同様に対応する。	履行中																																																
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	・ 保健医療学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見 (29) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。 (職位はH29.5.1現在、年齢はH30.3.31現在) <table><tr><th></th><th>教授</th><th>准教授</th><th>講師</th><th>助教</th><th>計</th></tr><tr><td>30～39</td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>40～49</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>50～59</td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>60～69</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>70～79</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr><tr><td>80以上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>6</td><td></td><td>4</td><td></td><td>10</td></tr></table>		教授	准教授	講師	助教	計	30～39			2		2	40～49	2				2	50～59			2		2	60～69						70～79	4				4	80以上						計	6		4		10	履行中
	教授	准教授	講師	助教	計																																														
30～39			2		2																																														
40～49	2				2																																														
50～59			2		2																																														
60～69																																																			
70～79	4				4																																														
80以上																																																			
計	6		4		10																																														
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	・ 保健医療学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見 教員組織編製の将来構想は、教員任用規程に基づき学内の講師の専任教員を准教授に昇任するほか、退職する教授の後任は、年齢構成を考慮し50歳代の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。さらに、職位と年齢構成を考慮して30歳代～40歳代の助教・講師を採用し、FDを強化し教員の育成、特に若年の専任教員の育成に努める。 (30) 29年度と同様に対応する。	履行中																																																

設置計画履行状況 調 査 時 (31年2月)	・保健医療学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。	指摘事項 (改善)	(31) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。 (職位はR1.5.1現在、年齢はH31.3.31現在) <table border="1" data-bbox="730 230 999 499"> <thead> <tr> <th></th> <th>教授</th> <th>准教授</th> <th>講師</th> <th>助教</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30～39歳</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>40～49歳</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>65～69歳</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> 教員組織編制の将来構想は、教員任用規程に基づき学内の講師の専任教員を准教授に昇任するほか、退職する教授の後任は、公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。さらに、職位と年齢構成を考慮して30歳代～40歳代の助教・講師を採用し、FDを強化し教員の育成、特に若年の専任教員の育成に努める。		教授	准教授	講師	助教	計	30～39歳			1	1	2	40～49歳	2				2	50～59歳			2		2	60～69歳					0	65～69歳	3				3	70以上	1				1	計	6	0	3	1	10	履行中
	教授	准教授	講師	助教	計																																															
30～39歳			1	1	2																																															
40～49歳	2				2																																															
50～59歳			2		2																																															
60～69歳					0																																															
65～69歳	3				3																																															
70以上	1				1																																															
計	6	0	3	1	10																																															

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 診療放射線学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 ・一般入学試験 ・推薦入学試験	① 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、 大学入試センター試験利用入学試験を実施

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 - a 委員会の設置状況 ・FD委員会（看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施） - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・第1回FD委員会 平成30年5月23日（教員8人、事務職員2人） ・第1回FD委員会 平成31年1月23日（教員8人、事務職員2人） - c 委員会の審議事項等 ・学生による授業評価アンケートの実施 ・フィードバックの実施 ・教員研修会の実施 ・授業方法の開発等	② 実施状況 - a 実施内容 ・学生による授業評価アンケートの実施 前期授業評価アンケートは基本的に4月～7月に実施された科目の最終講義に実施したが、診療放射線学科3年生については臨床実習の関係で9月に実施し、その後に業者に集計を依頼した。後期の授業評価アンケートは、11月から2月に実施した。 ・フィードバックの実施 学生に対して、前期授業評価アンケートの集計及びフィードバックコメントは、12月から1月まで図書館等に掲示を行った。後期分については、3月から4月まで図書館等に掲示を行った。さらに、各科目担当教員にも授業評価アンケートの集計及び自由記述結果を返却し、各教員からはその内容を受け、次年度の教育にどう反映させるかを各学科内で検討した。 ・教員研修会の実施 平成30年度8月27日（月）14：00～16：00に「ルーブリック評価」に関わる研修会を行い、参加した教員からはアンケート調査の結果5段階で4以上の高い評価を受けた。 ・授業方法の開発について FD委員会から代表者1名が第50回日本医学教育研究会および第12回日本診療放射線学教育学会に参加し、研鑽を積んだ。また、その資料を持ち帰り委員会のメンバーに紹介等を行った。 ベストティーチャー賞等の表彰企画や併せて模擬授業の開催を会議で検討を行い継続して審議を行う予定とした。 カリキュラム検討委員会やキャリア学修支援センターとの連携、他大学との意見交流や視察によるFD委員会の活性化について検討を行った。
---	--

b 実施方法

上記の実施内容に沿って適切に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

2回の教員研修会はいずれも公務で外勤した教員以外、全員の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度（前期・後期）も専任教員科目については継続して学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学期ごとに実施 前期 7～8月 後期 1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内掲示板及び学生用ポータルサイトでアンケート結果及び学生コメントへのフィードバックを行っている。
前期分：9月 後期分：翌年度の4月

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

記入例）

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科及び診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。

看護学科は平成30年度が開設後5年目、リハビリテーション学科は設置後4年目、診療放射線学科は設置後3年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、自己点検評価委員会は平成26年度に設置され、平成27年度から活動を始め種々の自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 本学においては、日本医療大学年報という名称で自己点検評価報告書を作成し、ホームページには当該年度の翌年下半年に掲載している。

b 公表方法

・ 本学ホームページに公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

・ 令和元年度に評価機関（日本高等教育評価機構）評価を受けるべく、準備中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 8月 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。